

別冊

おいしいものがたり

～資料館資料編～

■新町発足70周年記念企画展

第三期「大石田町と画家たち」より

新町発足70周年を迎え、資料館では昭和期の大石田町に焦点をあてた企画展を五期にわたって開催しています。現在は第三期「大石田町と画家たち」の会期中です。来町画家の代表といえる洋画家・金山平三については第一期で取り上げましたが、昭和期には他にも多くの画家たちが大石田を訪れています。本企画展では金山以外の画家、特に山形県出身の郷土作家の作品を展示しており、今回はその中でも、これまで焦点をあてる機会があまりなかった画家たちを紹介してみたいと思います。

まずは洋画家・前田春治。1930年山形市に生まれ、東京藝大絵画科では安井曾太郎らに学びました。卒業後は東北現代美術協会を結成したほか山形西高、山形北高、山形芸術学園、山形短期大学などで美術の教鞭をとり、山形県の美術界において後進の育成に尽力しました。平成8年度には齋藤茂吉文化賞を受賞しています。

続いては東根市長瀬出身の洋画家・柏倉清助。昭和元年生まれで、旧制山形中学を経て拓殖大学を卒業後、一水会の菅野矢一に師事しました。昭和23年には楯岡中学校に奉職し、昭和42年に教員を退職するまで教壇に立ちました。その後は画業に専念し、三越本店で度々個展を開催しながら画壇での地位を確立し、平成元年には文化庁の現代美術選抜展に選出され、同年の第21回日展では特選を獲得しています。

最後は、大石田町出身の洋画家・二藤部賢造です。明治41年四日町に生まれた賢造氏は、小学生の頃、脳脊髄膜炎で右手足が不自由となりました。苦行の末山形工高に進むも中途退学し、以後は左手で絵を描くようになりました。昭和20年代には金山平三の紹介で示現会の代表でもあった洋画家・三上知治に師事します。その後は同じく町出身の画家・土屋貞吉と共に「白風会」を結社して創作活動に励み、多くの優品を描きました。

このほかにも真下慶治や近岡善次郎といったかつて本稿でも取り上げたことのある洋画家に加え、新関白黎や日本画家・秋元節郎、版画家・菊地隆知など大石田町に所縁のある画家らの作品を幅広く展示しております。是非ご来館いただき、芸術の秋をご堪能ください。

(大石田町立歴史民俗資料館 大谷 俊継)

新町発足70周年記念企画展第三期「大石田町と画家たち」は11月30日(日)まで



大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報や各種行政情報を受け取ることができます。

友だち登録をお願いします！

登録方法

右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。



大石田町公式LINE

防災放送の内容を

電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

■総務課総務グループ TEL35-2111 (内線218)

町の人口 令和7年9月1日現在

世帯数	2,198戸	(+1)
総人口	5,812人	(-11)
男	2,900人	(-3)
女	2,912人	(-8)

(8月中の異動)

出生	1人	転入	2人
死亡	5人	転出	9人

※この人数は外国人も含めたものです。